

夢 塾 だ よ り

～ 才 能 と 運 ～ (第6号)

平成 29 年 12 月 29 日



将棋は破壊、囲碁は創造のゲームといわれ、将棋は「指す」囲碁は「打つ」といいます。先日、史上初の「永世7冠」を達成した羽生善治さんの言葉です。「才能は一瞬のひらめきだと思っていた。しかし、今は10年とか20年、30年を同じ姿勢で同じ情熱を傾けられることが才能だと思っている」これこそ今の羽

生さんが将棋界に王座として君臨し続けられる名言です。情熱を傾け続けられることを羽生さんは「才能」と言ったことに、私は25年前を思い出しました。

村主催の水彩画教室に応募して、初回の授業で、講師の平良先生は言いました。「皆さん、絵を描くには特別な才能があると思いますか？」(一同ざわめく)・・・先生の答え。「絵には才能なんてありません。どれくらいの気持ちで絵を書きたいか、書き続けられるかが才能です」私はいたく感動したことを覚えています。その後の私は、先生の言葉を信じて、書きたい衝動がくると描きまくります。恥もかきまくります。

最近テレビで引っ張りだこの梅沢富美男さん、初めはなんだか好きになれませんでしたでしたが、今では大ファンです。彼はよく自分は「才能のかたまり」ですからとって笑わせますが真意は逆です。「努力のかたまり」と言いたいのだろうと解釈しています。梅沢さんの言葉です。「ときどき、『自分には運がない』と嘆く人がいますが、運なんかないですよ。努力して自分を磨くからこそ、チャンスが来る。これを人が勝手に『運』と呼んでいるだけだと思います」

転じて、今年もあと3日、早いものです。年を重ねるにつれて1年が早く感じるのは、数学の真理。理由は『分母が自分の年齢、分子が1』 62歳だと1年の長さは62分の1、7歳の子の1年は7分の1 いかがでしょうか。どちらの値が小さいか、おわかりですね。

今年もお世話になりました。どうぞ皆様、よい年をお迎えください。